

校長室から

校長 武田 幹弘

3月を目前に控え、校内は年度末の締めくくりと新年度への準備で活気あふれる時期を迎えました。毎年この時期になると、この一年間の出来事や出会いが鮮やかに思い出されます。皆さんの心には今、どんな景色が浮かんでいるでしょうか？

今年度、皆さんは実習や行事、そして地域の方々と交流を通じて、学校の枠を超えた多くの経験を積んできました。自分たちが育てた農産物・加工品と一緒に共有した活動が地域の方々に喜ばれ、温かい声をかけていただいた瞬間。それは単なる学習を超えて、「自分の力が誰かの役に立っている」という大きな満足感と自信に繋がったはずです。こうした地域との繋がりの中で得た手応えこそが、皆さんの成長の証であり、遠農で学ぶ何よりの価値です。

日々の活動の中では、思うようにいかず苦い経験をしたこともあったでしょう。しかし、それは「新しい発見」への入り口です。失敗をただの誤りとせず、次への大切なヒントとして捉え直してみてください。反対に、納得できる成果が得られたものは、さらにブラッシュアップして「自分にしかできないこと」へと高めていきましょう。

私たち教職員も、皆さんが「この学校で、この地域で学んで本当によかった」と心から実感できるよう、一人ひとりの挑戦を全力でサポートする準備を進めています。皆さんの「やってみたい」という前向きな意欲が、地域を元気にし、遠農をより魅力的な学校へと進化させていきたいと思えます。

4月からの新しい自分を想像してみてください。どんな自分になりたいか、地域の中でどんな役割を果たしたいか。今から「良きプランニング」を始めることで、新年度のスタートはより輝かしいものになります。これまでの経験すべてを今後の糧に変えて、さらなるステップアップを目指して共に歩んでいきましょう。

2月のトピックス

第43回「えんべつ冬祭り」2月8日(日)

に遠別町のマナピィで開催された「えんべつ冬祭り」に参加してきました。

今回は、もち米、ペリーラ(シソ飲料)、トマトジュース、羊肉まんのほか、初めて本校産もち米を使用して製造した「あられ」を準備し、2名の生徒が販売実習として行い、町内の多くの方々に遠別農業高校の生産物を知ってもらうことができました。そのほか、ボランティアとしても5名の生徒が参加し、ビンゴ大会の手伝いなどにあたりました。

この活動を通して、生徒が町民の方々と活発に交流し、楽しそうに過ごしている様子をあちこちで見ることができました。

校内実績発表大会 2月20日(金)

校内実績発表大会が行われました。この大会は農業クラブ3大事業の1つであり、本校では今年度最後の大会となりました。

本大会の目的は、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の科学性を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的としています。

生徒たちは地域の課題や問題など様々なことについて興味・関心を持ち、試行錯誤しながら研究を行ってきました。発表では、どの分会の生徒も自分たちの研究の成果を堂々と発表していました。

結果は以下の通りです。

- 最優秀賞 乳肉加工分会 「羊肉を身近に～羊肉まんて地域活性化～」
- 優秀賞 園芸分会 「ドローンによる湛水直播～2年目の取り組み～」
- 優秀賞 畜産分会 「遠別の子供に羊の魅力伝えよう大作戦」



3月の行事予定

3月1日(日)	卒業式	3月10日(火)	CBA 学力テスト
3月4日(水)	一般入学者選抜(学力検査)	3月17日(火)	合格発表
3月5日(木)	一般入学者選抜(面接)	3月24日(火)	修了式・離任式 閉寮・閉所

